

蛍光塗装

適用部位：

仕上げの種類	蛍光塗装仕上げ
塗装略号	—
素材の種類	不明
旧塗膜の種類	旧塗膜あり

シンロイヒ株式会社
鎌倉市台2-19-12
Tel.0467(43)2121

ロイヒカラーネオ

1. 塗装場所 現地

2. 使用材料一覧表

	塗料名	商品名	希釈シンナー
1	アクリル樹脂系エマルジョンペイント	SH水性シーラー	水道水
2	アルキド樹脂系蛍光塗料	ロイヒカラーネオ	塗料用シンナー
3	アクリルアルキド樹脂系塗料	オーバーレイC	塗料用シンナー

3. 塗装仕様

工程	商品名	塗回数	色相	混合比率 (重量比)	希釈率 (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	1. 活膜部はサンドペーパーを用いて入念に目粗し、塗り重ね塗膜の足掛かりを確保する。 2. ゴミ、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、ウエス、シンナーなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							乾燥後
下塗り	SH水性シーラー	1~2	ホワイト	—	0~3	刷毛 ローラー	0.18~0.20	2時間以上
					20~30	吹き付け		
中塗り	ロイヒカラーネオ	2	各色	—	0~5	刷毛 ローラー	0.13~0.15	2時間以上 7日以内
					15~25	吹き付け		
クリヤー	オーバーレイC	1	—	—	5~10	刷毛 ローラー	0.11~0.13	4時間以上
					20~30	吹き付け		

注意：塗装する際は必ず塗装前に密着試験を行って付着性をご確認してから塗装してください。

◇標準使用量は、被塗物の形状や、塗装方法・環境などによって、増減することがあります。

4. 塗装上の要点

- ① 素地の乾燥に注意してください。
- ② 塗料は内容物が均一になるように攪拌して使用してください。
- ③ 塗料の薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不足となりますので注意してください。
- ④ 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合、使用塗料の控えを必ず取っておき同一塗料、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑤ シンナー等を加え過ぎないように注意してください。ダレたり薄膜となり耐久性の不足、剥離の原因になります。
- ⑥ 下塗りの塗装は、被膜面を綺麗に隠ぺいさせてください。
ロイヒカラーネオは、隠ぺい力が小さいため下地の状態がそのまま仕上がりに影響いたします。
- ⑦ ロイヒカラーネオは、塗膜厚によって耐候性が著しく左右されます。
標準膜厚（80~90μ）に、仕上げて下さい。
☆商品の使用に際しては、カタログ、説明書などを参照ください。

5. 注意事項

- ① 塗装場所の気温や被塗物温度が5℃以下、湿度85%以上又は換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、塗装を避けてください。
- ② 外部の塗装で降雨、降雪の恐れのある場合及び強風時は塗装を避けてください。
- ③ 塗装時や、塗料の扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。